

## 平成20年度 事前評価実施地区一覧表

四国森林管理局

(1) 森林環境保全整備事業

整理 番号	都道府県	事業実施主体		事業名	事業実施地区名		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考		
										I 必須事項					II 優先配慮事項												
										1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性 (1)	3 事業の実施環境等									
															(1)	(2)		(1)	(2)	(3)							
①	②	①	②	③	④	⑤																					
1	徳島県	四国局	徳島署	森林環境保全整備	那賀・海部川計画区	なか・かいふがわ	263,194	83,457	3.15	○	○	○	○	○	A	A	B	B	A	A	A	A	B	A	A	参考 公表	
2	愛媛県	四国局	愛媛署	森林環境保全整備	中予山岳計画区	ちゅうよさんがく	888,869	541,587	1.64	○	○	○	○	○	A	A	B	B	A	A	A	A	B	A	A	参考 公表	

※森林環境保全整備事業、森林居住環境整備事業ごとに別様とする。

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（なかかいふがわ） 那賀・海部川森林計画区 （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、北部は剣山、雲早山に連なる諸山から、西部是那賀川の源流部、東部、南部は沿岸部までの徳島県南部に所在する150千haを対象とし、国有林野面積は4千haとなっている。</p> <p>当計画区は、年平均気温14.5℃で、平均年間降水量は2,500mmと、比較的温暖で林木の生育に適した気候下であり、スギ、ヒノキを中心とした植栽が行われており、人工林率は70%となっている。このため、間伐の推進、木材利用の推進、林産物の供給等、持続可能な森林経営による地域振興への要請は高くなっている。</p> <p>一方当計画区内の剣山、高城山周辺には天然林が多く分布し、剣山国立公園に指定されている。また貴重な野生動植物の広域化や相互交流に資する等、生物多様性保全のため「四国山地緑の回廊」剣山地区にも指定されるなど、その立地条件(奥地林・里山林)は多様である。このことから、国土の保全や水源のかん養に加え、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、公益的機能の発揮に関する地域の要請は高まっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">4 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">36 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">1.00 Km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	4 ha			保育面積	36 ha		路網整備	開設延長	1.00 Km
主な事業内容	森林整備	更新面積	4 ha												
		保育面積	36 ha												
	路網整備	開設延長	1.00 Km												
費用対効果分析	総 便 益 ( B )	263,194 千円													
	総 費 用 ( C )	83,457 千円													
	分析結果 ( B / C )	3.15													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化の防止対策、生物多様性の保全、国土の保全、水源かん養等の森林の有する多面的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちゅうよさんがく） 中予山岳森林計画区 （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、愛媛県中部に位置する区域面積58千haを対象とし、森林はその90%の52千haとなっている。国有林は石鎚山系にまとまって分布しており、小団地として猪伏山、ヨラキレ、河ノ子山の3団地があり、面積は9千haとなっている。</p> <p>当計画区は、年平均気温13℃で、平均年間降水量は1,800～2,000mmと冷涼多雨で林木の生育に適した気候条件下にあり、スギ、ヒノキを中心とした植林が行われており、人工林率は77%となっている。このため間伐の推進、木材利用の推進、林産物の供給等、持続可能な森林経営による地域振興への要請は高くなっている。</p> <p>一方当計画区の立地条件は石鎚山を中心とする山岳地域であり、特に面河川周辺は、我が国の主要な森林帯を代表する原生的な天然林を広く保護する石鎚山系森林生態系保護地域にも指定されているとともに、貴重な野生動植物の広域化や相互交流に資する等、生物多様性保全のため「四国山地緑の回廊」石鎚山地区にも指定されている。このことから、国土の保全、水源のかん養に加え、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>38 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>507 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.80 Km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	38 ha			保育面積	507 ha		路網整備	開設延長	4.80 Km
主な事業内容	森林整備	更新面積	38 ha												
		保育面積	507 ha												
	路網整備	開設延長	4.80 Km												
費用対効果分析	総 便 益（B）	888,869 千円													
	総 費 用（C）	541,587 千円													
	分析結果（B / C）	1.64													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化の防止対策、生物多様性の保全、国土の保全、水源かん養等の森林の有する多面的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 四国森林管理局

事業実施地区名: 那賀・海部川森林計画区(徳島県)

徳島森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	39,427	
	流域貯水便益	12,184	
	水質浄化便益	16,294	
山地保全便益	土砂流出防止便益	33,271	
環境保全便益	炭素固定便益	9,089	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	21,240	
	木材利用増進便益	4,208	
	木材生産確保・増進便益	43,333	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	61,595	
	治山経費縮減便益	20,926	
	森林管理等経費縮減便益	1,627	
総便益(B)		263,194	
総費用(C)		83,457	
費用便益比		3.15	

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 四国森林管理局

事業実施地区名: 中予山岳森林計画区(愛媛県)

愛媛森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	93,153	
	流域貯水便益	34,714	
	水質浄化便益	46,426	
山地保全便益	土砂流出防止便益	112,114	
環境保全便益	炭素固定便益	58,946	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	73,134	
	木材利用増進便益	10,166	
	木材生産確保・増進便益	139,105	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	248,709	
	治山経費縮減便益	65,006	
	森林管理等経費縮減便益	7,396	
総便益(B)		888,869	
総費用(C)		541,587	
費用便益比		1.64	